

日本 RNA 学会会報

No.14 (2006 年 4 月)

目次

会長挨拶	1
日本 RNA 学会 第 4 期評議員選挙結果について	2
日本 RNA 学会 第 4 期評議員会議事録	3
日本 RNA 学会 第 8 回総会のご案内	4
日本 RNA 学会 第 4 期役員	4
第 8 回 RNA ミーティング(日本 RNA 学会年会)のお知らせ	
第 8 回 RNA ミーティングのご案内	5
参加および発表申込・宿泊申込方法のご案内	10
会場案内図	13
国際シンポジウム (RNA 2006 Izu) のお知らせ	15

日 本 R N A 学 会
(THE RNA SOCIETY OF JAPAN)

wwwsoc.nii.ac.jp/rnaj/

会長挨拶

会長 中村 義一

日本RNA学会の第4期の評議員が決まり互選の結果、私が会長に選ばれました。また、諸幹事も決まり第4期の執行部の体制が固まりました。設立以来、3期の間に本学会は順調に発展して会員数も600名をこえました。日本RNA学会の設立の志は成功し、順調に発展していると言えるでしょう。これも会員皆様のご支援と熱意の賜物と思います。

日本RNA学会の発展と足並みを揃えるかのように、RNA研究は迅速なスピードで画期的な成果を積み重ね、今や生命科学の中心的な位置をしめていることに、誰もが疑うことのない時勢となりました。これからの第4期、この勢いをさらに加速して、「RNAと生命」の本質に真正面からチャレンジするステップアップの年にしましょう。そして、我が国から世界をリードする良質な研究成果を生み出していきたいものです。

振り返れば、昨年度は、科学論文の信頼性が問われた1年でありました。いうまでもなく実験科学においては、データの信頼性が極めて重要であり、それは世界のどこでも、誰によっても再現されるべきものです。本学会のホームページあるいは新聞等の報道でご承知のように、日本RNA学会（渡辺公綱前会長）が指摘したRNA関連論文に対する疑惑については、東京大学工学系研究科・調査委員会の1年におよぶ調査の結果が本年3月に公表されました。その結果、「信頼性なし、再現性なし」と結論されました。本学会としては、東京大学工学系研究科・調査委員会の真摯なご努力に敬意を表すると同時に、実験科学者として、あらためて襟を正すところです。

日本RNA学会の誇りは、学会関係者の研究成果が、いわゆるトップジャーナルを含め定評のある学術専門誌に多くの堅実な論文として掲載され、それらが日本のRNA研究を支えている事実です。そして、その原動力となっている若手の研究者の存在です。今後も、この二つの誇りをいっそう育み、皆様と一緒に本学会を発展させていきましょう。

日本RNA学会 第4期評議員選挙結果について

選挙公示： 会報13号
投票締切日： 2006年2月28日
開票日： 2006年3月7日
開票場所： (株)クバプロ(RNA学会事務局)

有権者数： 583名
投票総数： 65通
有効投票数： 64通
無効： 1通

得票上位10名、および次点は下記の通りとなりました(敬称略、50音順)。

阿形清和、井上邦夫、内海利男、大野睦人、河合剛太、
塩見春彦、塩見美喜子、鈴木 勉、中村義一、松藤千弥

次点 饗場弘二

皆様ご協力いただき、誠にありがとうございました。

選挙管理委員
鈴木 勉
廣瀬哲郎
富田耕造

日本RNA学会 第4期評議員会議事録

日時： 平成18年3月28日(火) 13:00 ~ 15:00

場所： 学士会館 306号室

出席者： 井上邦夫、河合剛太、塩見春彦、塩見美喜子、鈴木 勉、中村義一、
松藤千弥、渡辺公綱(議長)

欠席者： 阿形清和、内海利男、大野睦人

1. 渡辺公綱第3期会長が開会挨拶を行った。
2. 鈴木勉第3期庶務幹事・選挙管理委員より、第4期評議員選挙結果が報告された。
3. 第4期評議員の互選により会長の選出を行った。この結果、中村義一評議員が第4期会長に選出された。
4. 中村第4期会長が議長を引き継ぎ、会長就任の挨拶を行った。
5. 副議長として、塩見春彦評議員が選出された。また、中村第4期会長から各幹事の指名があり、これを了承した。会計監査は、岡田典弘氏、吉久徹氏に決定した。
6. 鈴木勉評議員が庶務幹事に指名されて評議員を辞し、饗場弘二氏が繰り上がって評議員に就任した。
7. 塩見春彦評議員・集会幹事から、第8回年会準備状況が報告された。

(第3期庶務幹事・鈴木 勉)

日本RNA学会 第8回総会のご案内

第8回RNAミーティングの第1日目に、日本RNA学会第8回総会を下記の要領にて開催いたしますので、多くの会員のご出席をお願い致します。

(会長 中村義一)

記

日時： 平成18年7月18日(火) 17:30～18:30

場所： 淡路島夢舞台国際会議場 メインホール

ご欠席の会員は、この会報に添付されている委任状をご送付ください。
締め切りは7月7日(金)です。

以上

日本RNA学会 第4期役員 (平成18年4月～平成20年3月)

会長 中村義一
評議員 饗場弘二、阿形清和、井上邦夫、内海利男、大野睦人、
河合剛太、塩見春彦(副議長)、塩見美喜子、松藤千弥
(印は第3期より連続して評議員に就任された方々です)

庶務幹事 鈴木 勉
会計幹事 稲田利文
編集幹事 井川善也
集会幹事 塩見春彦、饗場弘二
会計監査 岡田典弘、吉久 徹

第8回RNAミーティング(第8回日本RNA学会年会)のご案内

本年度のRNAミーティングは、淡路夢舞台国際会議場にて開催致します。
海の青、山の緑、四季折々の花々に囲まれた静かな環境で、今年も活気に満ちた熱い討論が繰り広げられますことを、主催者、スタッフ一同期待しております。どうぞふるってご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

会 期： 2006年7月18日(火)~7月20日(木)
会 場： 兵庫県立淡路夢舞台国際会議場
〒656-2306 兵庫県淡路市夢舞台1番地 電話：0799-74-1020
<http://www.yumebutai.org/>

スケジュール(予定)：

7月18日(火)	12:00 ~ 13:00	受付 / ポスター貼付
	13:00 ~ 17:30	Opening Remark 口頭発表
	17:30 ~ 18:30	日本RNA学会総会
	18:30 ~ 19:30	夕食
	19:30 ~ 21:30	ポスターセッション <1>
7月19日(水)	8:00	受付開始
	8:30 ~ 12:00	口頭発表
	12:00 ~ 13:00	昼食
	13:00 ~ 15:00	ポスターセッション <2>
	15:00 ~ 17:00	口頭発表
	17:00 ~ 19:00	レクリエーション
19:00 ~ 21:00	懇親会 <ウェスティンホテル淡路>	
7月20日(木)	8:00	受付開始
	8:30 ~ 12:00	口頭発表
	12:00 ~ 13:00	昼食
	13:00 ~ 16:00	口頭発表 Closing Remark

演 題： 口頭発表1会場(50題程度を予定)
ポスター発表(7月18日、19日の2日間。セッション2回)
口頭発表希望者が多数の場合は、プログラム委員会で要旨を審査させて頂いた結果、ポスター発表とさせて頂く場合もございますので、あらかじめご了承下さい。

Scientific Topic

1. non-coding RNA
2. 高次生命現象とRNA
3. RNA 構造とRNA テクノロジー
4. tRNA、リボソーム、翻訳機構
5. RNA プロセッシング、輸送、局在
6. 品質管理、翻訳抑制

プログラム委員

伊藤 耕一 (東京大学)	河合 剛太 (千葉工業大学)
稲田 利文 (名古屋大学)	佐渡 敬 (国立遺伝研究所)
井上 邦夫 (神戸大学)	鈴木 勉 (東京大学)
井川 善也 (九州大学)	廣瀬 哲郎 (産業技術総合研究所)
大野 睦人 (京都大学)	塩見 春彦 (徳島大学)
尾之内 均 (北海道大学)	塩見 美喜子 (徳島大学)

参加費

学会当日、参加費受付にてお支払い下さい。

	日本RNA学会会員	日本RNA学会非会員
一般	13,000 円	18,000 円
学生	5,000 円	7,000 円

非会員の方には、日本RNA学会の年会費相当分の金額を参加費に加算させて頂いております。本学会へご入会を頂いていない方で、今回のミーティングへの参加をご希望の方には、学会へのご入会をお勧め致します。入会申込み方法の詳細に関しましては、次頁の参加および発表申込の中でご案内しております。

参加費の領収書をご希望の場合は、学会当日受付デスクにて発行致します。
必要な方はお申し出下さい。

懇親会

日時： 7月19日(水) 19:00 ~ 21:00
会場： ウェスティンホテル淡路「ステラ」
会費： 一般 2,000 円 学生 無料

例年懇親会費は無料としておりましたが、参加者数の増加に伴い、本年より、参加者の皆様にも一部ご負担をお願いすることになりました。スムーズな年会運営を行うためにも、どうかご理解下さいますよう、お願い申し上げます。

参加および発表申込

発表者として応募できるのは、平成18年度日本RNA学会年会費既納の本学会員に限られます。

代表発表者になれる発表は1人1題までとします。他の発表の連名者になることは差し支えありません。

新規入会申込および年会費支払いに関するお問合せは、(株)クバプロ内 日本RNA学会事務局までお問合せ下さい。

【日本RNA学会への入会方法】

年会費および入会金

入会費：1,000円

年会費：一般会員年額 5,000円

学生会員年額 2,000円

賛助会員年額一口 30,000円(入会金は不要)

日本RNA学会へ新規入会をご希望の方は、下記ウェブアドレスより、申込フォームに必要事項を入力後、送信して入会の手続きを行ってください。後日、日本RNA学会事務局より会費振込用紙が届きます。

<http://www.kuba.co.jp/cgi-bin/rnaj/tmrmail.cgi>

【入会申込に関する連絡先】

日本RNA学会事務局

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-15

UEDAビル6F(株)クバプロ内

電話：03-3238-1689 FAX：03-3238-1837

【発表申込締切日：平成18年5月26日(金)午後5時(必着)】

【参加登録申込締切日：平成18年7月3日(月)】

締切日以降も受付致しますが、準備の都合上、なるべく期日までにお申込み下さいますようご協力願います。

宿泊予約について

本年会では、会場と隣接しているウェスティンホテル淡路がオフィシャルホテルです。ご宿泊には、お得なコンファレンスレートをご利用頂けます。

なお、宿泊申込先は第8回日本RNA学会年会事務局にて承ります。

ホテル宿泊数が定員になり次第、宿泊のご案内を締切させていただきますので、ご希望の方は、10頁の必要事項をご記入の上、第8回RNA学会年会事務局まで、電子メールでお早めにお申込み下さい。

本年度は、ウェスティンホテル淡路のみのお取り扱いとなりますので、それ以外のホテルへのご宿泊をご希望の方は、各自で直接手配下さいませようお願い致します。

1. ホテル名：ウェスティンホテル淡路

〒656-2306 兵庫県淡路市夢舞台2番地 TEL：0799-74-1111

<http://www.westin-awaji.com/>

宿泊申込のお取扱いは、ウェスティンホテル淡路のみに限定させていただきます。

2. 宿泊期日：

チェックイン：平成18年7月18日(火)

チェックアウト：平成18年7月20日(木) 2泊

17日(前泊)と20日の夜(後泊)の宿泊は、上記とは別に取扱います。

3. 宿泊料金：(税サ込み・朝食付き1泊お1人様あたりの料金)

シングルユース：13,860円

ツイン：10,736円

トリプル：8,505円

シングルルームは数が少ないため、シングルご希望の場合は、事務局にて調整後、後日予約回答のお返事をお送りします。ご希望に添えない場合は、ツインルームの相部屋をお願いする場合がございます。予めご容赦下さい。

また、原則として、学生の方のシングルルームのご希望はお受けできませんので、ツインまたはトリプルにてお願い致します。

部屋はトリプルルームでも十分な広さがあり、快適にお泊まり頂けます。

ご希望の宿泊タイプが記入されていない場合は、トリプルとさせていただきます。

4. お申込締切：平成18年7月3日(月)

ホテル宿泊数が定員になり次第、宿泊のご案内を終了致します。

また、まことに恐れ入りますが、7月3日の締切以降のご宿泊申込につきましては、各自でお手配下さい。

5. 取り消し料

取り消し及び変更は、e-mailにてお早めにご連絡下さい。ご連絡を受け取った日によっては、下記のとおり、取り消し料を請求させていただきますので、あらかじめご了承下さい。

宿泊日14日前まで	2日～8日前	前日	当日・不泊
1,000円	宿泊料金(1泊)の20%	80%	100%

6. 申込送付先および連絡先

第8回日本RNA学会年会事務局

専用メールアドレス：rna2006@genome.tokushima-u.ac.jp

TEL：088-633-9456 / FAX：088-633-9492

昼食会場および弁当販売について

淡路夢舞台国際会議場および隣接のウェスティンホテル淡路には、和・洋・中のレストランがありますので、豊富なバリエーションをお楽しみ頂けます。

また、昼食時間は1時間と短時間なので、簡便に昼食を取りたい方のために、年会事務局にて、7月19日、20日の2日間、幕の内弁当(@840円)を販売致します。お弁当を召し上がれるお部屋もご用意致します。ご希望の方は、参加および発表申込の際に、あわせてお申込み下さい。

昼食代料金は、参加受付時にお支払い下さい。

その他

1) 第8回日本RNAミーティングのホームページアドレスは次の通りです。

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/rnaj/RNA2006/>

会議内容の詳細はホームページ上にて随時更新してご案内させていただきます。

2) 会議内容に関するご質問等は下記までお問い合わせ下さい。

なるべく電子メールでのご連絡をお願い致します。

年会専用メールアドレス：rna2006@genome.tokushima-u.ac.jp

年会専用ホームページ： <http://wwwsoc.nii.ac.jp/rnaj/RNA2006/>

連絡先および事務局担当者

世話人(年会長)：塩見 春彦(徳島大学)

運営統括：塩見 美喜子(徳島大学)

運営・事務担当：東 牧子

【連絡先】 第8回日本RNA学会年会事務局
徳島大学ゲノム機能研究センター
分子機能解析分野・塩見研究室内

〒770-8503 徳島市蔵本町3-18-15

TEL：088-633-9456 FAX：088-633-9492

参加および発表申込・宿泊申込方法のご案内

参加および発表申込、宿泊申込は、電子メールにてお送り下さい。
参加発表申込と宿泊申込を別々にお送り頂いても結構です。

送信先メールアドレス：rna2006@genome.tokushima-u.ac.jp

【参加および発表申込】

- 1) お名前(漢字とふりがなの両方)
- 2) 所属および身分
- 3) 連絡先(郵便番号・住所・E-mail・TEL・FAX)
- 4) 日本RNA学会会員かどうかについて(会員・非会員)
- 5) 7月19日開催の懇親会のご出欠
- 6) 発表の有無について
- 7) 発表する場合
 - a) 発表形式の希望(オーラル・ポスター)
 - b) 発表題目
 - c) セッション分野(6頁のScientific Topic番号でお答え下さい)
 - d) キーワード5つ
 - e) 要旨 Microsoft Word で作成、保存し、添付送信して下さい。
12頁の要旨見本を参考にして、必ず、以下の項目に従って作成下さい。

1. 用紙はA4サイズで、マージンは上下40mm、左右35mmです。
2. フォントは、日本語は明朝、英語はTimes、Times New Roman等を使用し、ポイントは12ポイントでお願いします。
3. 和文タイトル、著者、英文タイトル、著者の順に並記して下さい。
4. 和文タイトル、英文タイトルともBoldをかけて下さい。
5. 発表者には 印をつけて下さい。
6. 要旨集サイズはA5になります。お送り頂いたA4原稿をそのまま縮小印刷しますのでご留意下さい。
7. 要旨のファイル名は発表者の氏名にして下さい。

8) 昼食弁当のお申込について

昼食弁当(幕の内弁当(@840円))をご希望になる方は、希望する日についてお答え下さい。

7月19日のみ ・ 7月20日のみ ・ 両日とも

【宿泊申込】

宿泊を希望するかどうかについてご回答下さい。

希望する ・ 希望しない

希望される場合は、次の記入事項についてお答え下さい。

宿泊申込を希望された方には、折り返し、確認のご連絡を致します。

【記入事項】（次の1～7についてお答え下さい）

- 1) お名前(漢字とふりがなの両方)
- 2) 所属
- 3) 身分(必ずご記入下さい)
- 4) 宿泊確認書類送付先(〒番号・住所・TEL・FAX)
- 5) 連絡先 e-mail
- 6) 性別
- 7) 宿泊日および部屋のタイプ
 checkin : 7/18 checkout : 7/20 2泊
 checkin : 7/18 checkout : 7/19 1泊
 checkin : 7/19 checkout : 7/20 1泊

部屋タイプの希望

同室者の希望がある場合、氏名と所属もあわせて記載のこと

シングル

ツイン 同室者の希望 あり・なし

トリプル 同室者の希望 あり・なし

喫煙について

禁煙 喫煙 どちらでもよい

前泊(17日)と後泊(20日)について

宿泊を希望する ・ 宿泊を希望しない

<希望する場合>

同室者の希望がある場合、氏名と所属もあわせて記載のこと

シングル

ツイン 同室者の希望 あり・なし

トリプル 同室者の希望 あり・なし

同室者の希望がない方は、こちらで適宜設定します。

喫煙の有無については、ご希望に添えない場合がございます。

Microsoft Word で作成し、ファイル名を発表者氏名にする。例)Azuma.doc、東.doc 等
マージン：上下 40mm ・左右 35mm あげる。 ポイント：12 ポイント
フォント：日本語は明朝体。英語はTimes、Times New Roman 等を使用する。

ショウジョウバエ脆弱X相同遺伝子dFMR1とcourtship制御因子lingererの特異的相互作用の解析

○東あすか、伊藤健司、塩見美喜子、塩見春彦
(徳島大学ゲノム機能研究センター)

タイトル
Bold

発表者に 印

Genetic and biochemical analyses of specific interaction between dFMR1 and Lingerer, a courtship regulator

○Asuka Azuma, Kenji Ito, Mikiko Siomi, Haruhiko Siomi
(Institute for Genome Research, University of Tokushima)

脆弱X症候群は精神遅滞を最も高頻度に伴うヒト遺伝病である。我々はショウジョウバエを用いて、その原因遺伝子FMR1の機能解析を進めている。その過程で、培養細胞(S2)から精製したdFMR1複合体の構成因子として、ショウジョウバエの求愛行動制御因子Lingererを同定した。Lingerer蛋白質は、RNA結合蛋白質であるdFMR1と同じく、RNA結合ドメインであるPGCボックスを持つ。このことから、dFMR1-Lingerer蛋白質複体内にRNAが含まれていることが推測された。RNaseA存在下において、dFMR1とLingererとの結合が観察されなくなることから、dFMR1-Lingerer蛋白質間の結合はRNAを介していることが確認された。Lingerer-dFMR1複合体より抽出したRNAを³²P pCp末端ラベルして変性PAGEで展開した結果、いかなる特異的な低分子RNAも見出さなかった。現在これらのRNA分子のクローニング及び同定を試みている。

ショウジョウバエ個体においてLingererは雄の生殖行動を制御し、dFMR1と同様、神経系と生殖細胞系で高い発現を示すことが報告されている。我々は、*dfmr1*、*lingerer* 欠失変異体において神経筋接合部位のシナプス末端に形態変化が観察されることを発見した。これらのことから、神経筋系細胞やその末梢器官の機能に、LingererやdFMR1の存在、および相互作用が重要である事が示唆された。*lingerer / dfmr1* の二重欠失変異体を現在作成中である。

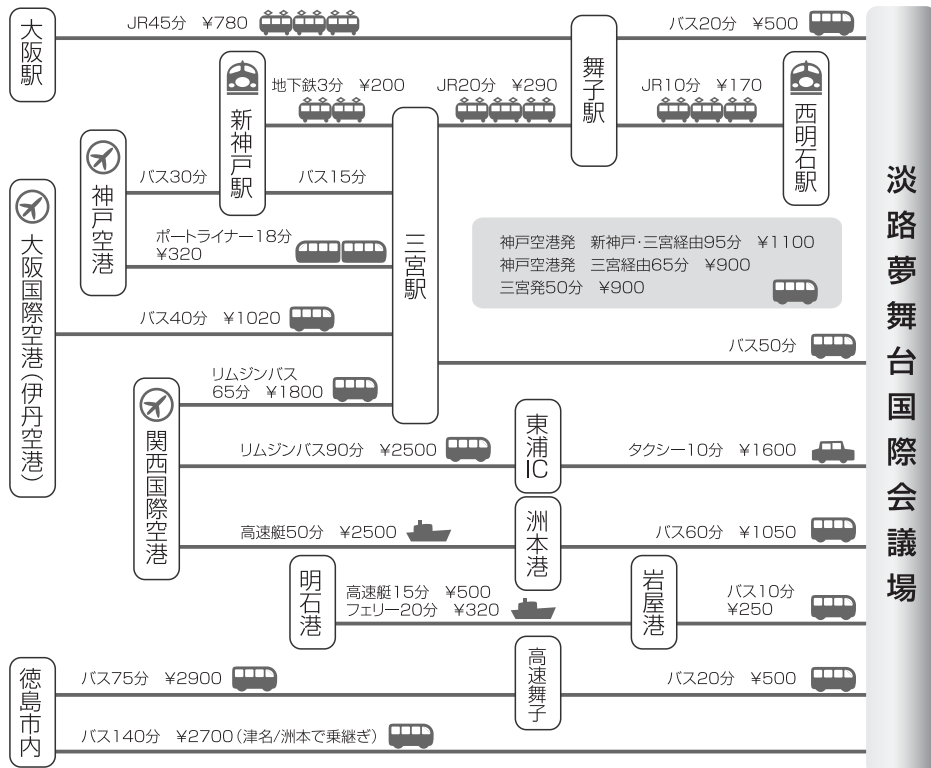
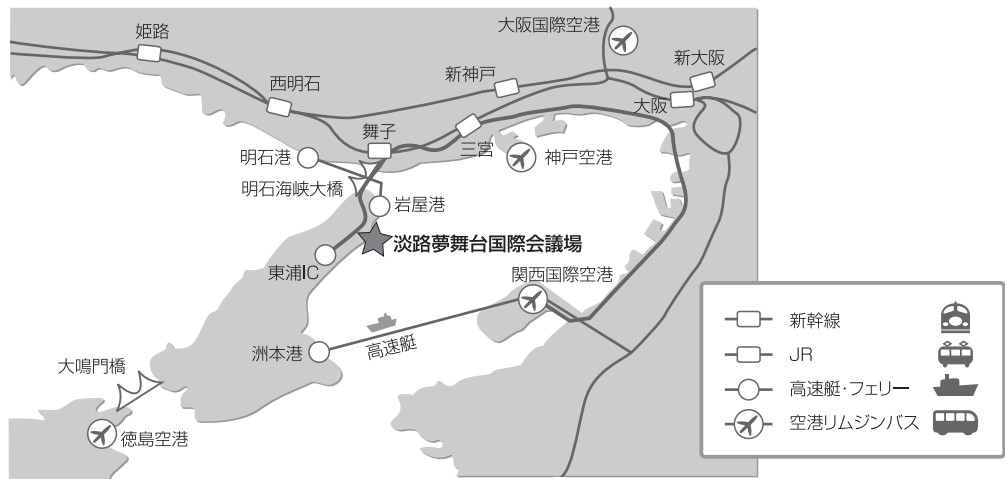
会場案内図

会場：兵庫県立淡路島夢舞台国際会議場 メインホール

〒656-2306 兵庫県淡路市夢舞台1番地 電話：0799-74-1020

<http://www.yumebutai.org/>

公共の交通機関でのルート



お車でお越しの場合

神戸(三宮)から30分(30 km)

大阪(梅田)から60分(60 km)

関西国際空港から90分(100 km 阪神高速湾岸線、明石海峡大橋経由)

大阪国際空港から50分(75 km 中国自動車道、阪神高速北神戸線、明石海峡大橋経由)

神戸空港から45分(45 km)

徳島空港から70分(85 km)

神戸淡路鳴門自動車道・淡路I.C.下車 国道28号南へ5分

神戸淡路鳴門自動車道・東浦I.C.下車 国道28号北へ5分

大阪泉佐野港からフェリーで95分、淡路島津名港から車で20分(20 km)

国際シンポジウムのお知らせ

RNA 2006 Izu "Functional RNAs and Regulatory Machinery"

会 期：2006年12月3日(日)～7日(木)

会 場：大仁ホテル(静岡県伊豆の国市)

主 催：文部科学省特定領域研究「RNA情報発現系の時空間ネットワーク」

海外の招聘講演者(*未確定)：

Margaret Buckingham(Pasteur Institute, Paris)

Richard H. Buckingham(IBPC, Paris)

Don Court(NCI-Frederick)

Witold Filipowicz(FMI, Basel)

Larry Gold(SomaLogic, Boulder)

Gregory J. Hannon*(Cold Spring Harbor Laboratory)

Matthias W. Hentze(EMBL)

John Hershey(UC-Davis)

Leif Isaksson(Stockholm University)

Allan Jacobson(University of Massachusetts Medical School)

Lynne E. Maquat(University of Rochester)

John E.G. McCarthy(UMIST, Manchester)

Craig C. Mello*(University of Massachusetts)

Kiyoshi Nagai(MRC, Cambridge)

Venki Ramakrishnan(MRC, Cambridge)

Peter Sarnow(Stanford University School of Medicine)

Nahum Sonenberg(McGill University, Montreal)

Mathias Springer(IBPC, Paris)

他数名交渉中

一般演題募集予定(オーラルとポスター)

詳細は後日ウェブにて公開予定

組織委員会

中村義一(代表)、坂本 博、松藤千弥、塩見春彦

日本 RNA 学会 会報

第 14 号 (2006 年 4 月)

発行・制作：日本 RNA 学会 編集幹事

連絡先：九州大学

大学院工学研究院 井川 善也

〒 819-0395 福岡市西区元岡 744

電話：092-802-2866 (直通)

FAX：092-802-2865

E-mail：yikawa@cstf.kyushu-u.ac.jp